

FUJIFILM

プロジェクター
FP-Z5000

簡易説明書
(設置と基本操作)



富士フイルム株式会社

BL00005017-102

目次

安全上のご注意	1
安全にお使いいただくために.....	1
⚠ 警告.....	1
⚠ 注意.....	2
使用・保管時の留意点.....	3
レーザー製品を安全にお使いいただくために.....	4
⚠ 警告.....	4
⚠ 注意.....	4
レーザーについて.....	4
レーザー警告ラベル.....	4
はじめに	5
同梱物.....	5
各部名称.....	6
設置	7
設置環境の確認.....	7
設置場所.....	7
縦置きを設置について.....	8
スタンドについて.....	8
レンズシフト調整範囲と投写距離.....	9
基本操作	13
操作パネルについて.....	13
電源のオン/待機状態（スタンバイ）.....	14
電源をオンにする.....	14
電源を待機状態（スタンバイ）にする.....	14

設定	15
レンズの向きを調整.....	15
投写映像のフォーカスを調整.....	17
レンズシフト調整.....	18
ズーム調整.....	19
キーストーン調整.....	20
接続	21
HDMI 機器と接続	21
HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続.....	21
資料	22
対応解像度一覧.....	22
HDMI/HDBaseT	22
リモコンの使い方.....	23
インジケータランプ.....	24

使用説明書

本製品の詳細の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/spec/manual/fp-z5000/>

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

文章中の ⚠ 警告や ⚠ 注意は次のことを表しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示します。

ここでは、製品を安全に正しくご使用いただくために、重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前に読み、記載内容に従って正しくご使用ください。

⚠ 警告

- ・ 設置・取り付け・締め付けは確実に行ってください。高所使用時の落下は重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ 天井への取り付け（天吊り設置）工事は、特別な技術をもった専門業者にて実施してください。正しく工事が行われないと、落下による重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ 高所作業を行うときは、必ず2名以上で作業を行うとともに、命綱を用いるなどして身体の安全を確保してください。バランスをくずしたりすると重大な事故につながる原因になります。
- ・ 本機を高所へ取り付けるときは、取り付け場所の下にいる人を作業範囲外へ遠ざけてください。落下物が人に当たると、重大な事故の原因になります。
- ・ 風呂、シャワー室では使用、設置しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因になります。
- ・ 接続コードの上に重いものを載せたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。コードに傷がついた場合は、弊社サービスセンターにご相談ください。
- ・ 一度端子部分が曲がってしまったコネクタは使用しないでください。
- ・ 不安定な場所に設置しないでください。必ず水平な場所に設置してください。バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。
- ・ 雷が鳴りだしたら金属部分に触れないでください。落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
- ・ 本機の上に薬品や水の入ったものなどを置かないでください。水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。
- ・ 電源をオンにしたあとは、絶対にレンズを覗かないでください。強い光で、視力障害などの原因になります。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズを覗かないでください。
- ・ 燃えやすいもの、金属類、異物等を本機に差し込んだり近くに放置したりしないでください。火災、感電、やけどの原因になります。
- ・ 本機のレンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性のガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災の原因になることがあります。

- ・本機を可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。引火による火災の原因になることがあります。
- ・燃えやすいものを、本機のレンズの前に置かないでください。火災の原因になることがあります。
- ・投写中に本や布などで投写光をさえぎらないでください。投写光をさえぎると投写光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になったりします。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になります。
- ・電源をオンにしたあとや、電源を待機状態（スタンバイ）にした直後は、本機のレンズや金属部分に触れないでください。やけどの原因になります。
- ・本機を持ち上げる際は、落とさないように注意してください。
- ・異常が起きたら電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源ケーブル、USBケーブルを外してください。煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電や視力障害の原因になります。

注意

- ・本書に記載された機能以外の目的で、本機を使用しないでください。
- ・本機およびその付属品は精密機械です。決して強い衝撃を与えないでください。
- ・スタンド取り付けの際、本機を持ち上げる場合は、落とさないように注意してください。
- ・スタンドはゆるみのないよう本機に固定してください。また、スタンドの脚は開いてお使いください。スタンド取り付けがゆるい場合や、スタンドの脚が開いていない場合は、縦置き使用時に不安定になり本機が転倒する可能性があります。
- ・本機を長期間使用しないときは、レンズにレンズキャップを取り付けてください。
- ・レンズ可動式となっているため、衝撃や無理な力を加えないでください。
- ・油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。
- ・異常な高温になる場所や直射日光が当たる場所には置かないでください。火災の原因になることがあります。
- ・本機または電池の入ったリモコンを、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因になることがあります。
- ・本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてケガの原因になることがあります。
- ・電源プラグが傷んでいるときやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災・感電の原因になることがあります。
- ・投写中は手や顔を排気口に近付けたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置いたりしないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因になります。
- ・本機を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化等により火災の原因になることがあります。
- ・本機を移動させる場合やお手入れの際は、必ず電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源プラグをコンセントから外し、すべての配線を外してから行ってください。火災・感電の原因になることがあります。

安全上のご注意

- ・お手入れの際は、濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどしたりして、感電の原因になります。
- ・本機の内部にホコリがたまり、火災や故障の原因になることがあります。定期的な内部点検・清掃をおすすめします。その際は、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・レンズ部を持って、本機を持ち上げないでください。故障の原因になります。
- ・高地（標高約 1500m 以上）でご使用になるときは、高地対応モードを「On」に設定して本機の内部温度が適切に調整されるようにしてください。部品の寿命に影響を及ぼす可能性があります。
- ・本機を縦置きで設置するときには、必ず専用のスタンドを取り付けてください。
- ・異常が起きたら電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源ケーブル、USB ケーブルを外してください。煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電や視力障害の原因になります。お買い上げ店にご相談ください。
- ・内部に水や異物を落とさないでください。水・異物が内部に入ったら、電源を待機状態（スタンバイにして）、電源プラグをコンセントから外してください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。お買い上げ店にご相談ください。
- ・分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）でください。火災・感電の原因になります。
- ・小さな付属品は乳幼児に触れさせないでください。リモコンから取り外した電池や小さな付属品は、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・ケーブル類は安全に配慮して配線してください。転倒やケガの原因になります。
- ・振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。
- ・電源を待機状態（スタンバイ）にした直後はレンズに触れないでください。やけどの原因になります。
- ・アースは確実に設置してください。本機の電源プラグは、アース付きの 2 芯電源プラグです。安全確保のため、アースは確実にとってください。

使用・保管時の留意点

- ・温度が高すぎる場所や、低すぎる場所では使用・保管をしないでください。また、急激な温度変化も避けてください。使用温度範囲、保管温度範囲を守って、使用・保管をしてください。
- ・高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。正しく動作しない場合があります。
- ・本機を傾けて投写しないでください。故障や事故の原因になります。
- ・レンズを素手でさわらないでください。レンズ面に指紋や皮脂がつくと、きれいに投写できません。レンズが汚れたり、傷がついたりするのを防ぐため、本機を使用しないときは、レンズカバーを取り付けてください。
- ・保管の際は、リモコンから電池を取り出しておいてください。長期間電池を入れたままにしておくと、液漏れなどを起こす原因になります。
- ・油煙やたばこなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- ・レンズの汚れは、電源を待機状態（スタンバイ）にし、レンズや金属部分が冷えたことを確認のうえ、ゴミやホコリをブローで飛ばし、市販のきれいなメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- ・お手入れの際は、レンズが冷めてから行ってください。
- ・本機はクラス A 機器です。本機を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要請されることがあります。VCCI-A

レーザー製品を安全にお使いいただくために

本機は JIS C 6802:2014 に適合したクラス 1 レーザー製品です。以下の警告や注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- ・ 内部に高出力レーザー製品が組み込まれていますので、本機のケースを開けないでください。
- ・ 強い光が視力障害などの原因になりますので、本機の光源を直接見ないでください。
- ・ 本機を改造したり分解したりしないでください。高電圧により火災を起こしたり感電したりする危険があります。

⚠ 注意

本機を廃棄する場合は、国や地域の廃棄ルールに従って、分解しないで廃棄してください。

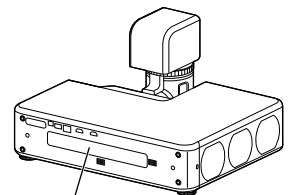
レーザーについて

本機の光源はレーザーを使用しており、以下のような特性があります。

- ・ 使用環境によって、光源の輝度が低下します。
- ・ 温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・ 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。
- ・ 使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。
- ・ 危険なレーザー光線にさらされることがあるため、点検、調整および修理作業は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
- ・ 本機にはレーザーモジュールが内蔵されています。取扱説明書に記載されている手順にしたがって操作および調整を行ってください。

レーザー警告ラベル

本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。



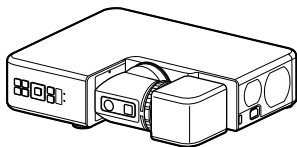
レーザー警告ラベル

レーザー光源の仕様

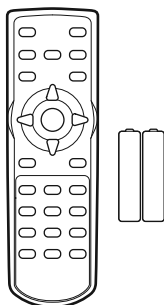
波長：455nm 最大出力：95 W

はじめに

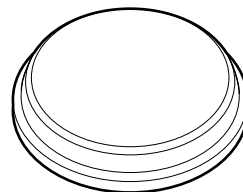
同梱物



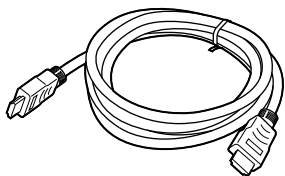
プロジェクター本体



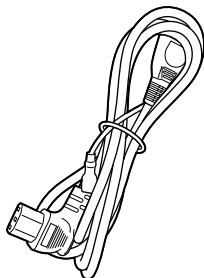
リモコン、単4型乾電池（2個）



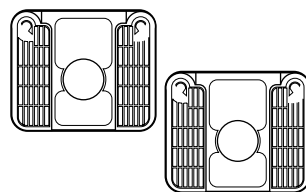
レンズキャップ



HDMIケーブル（約1.8m）



電源ケーブル（約3m）

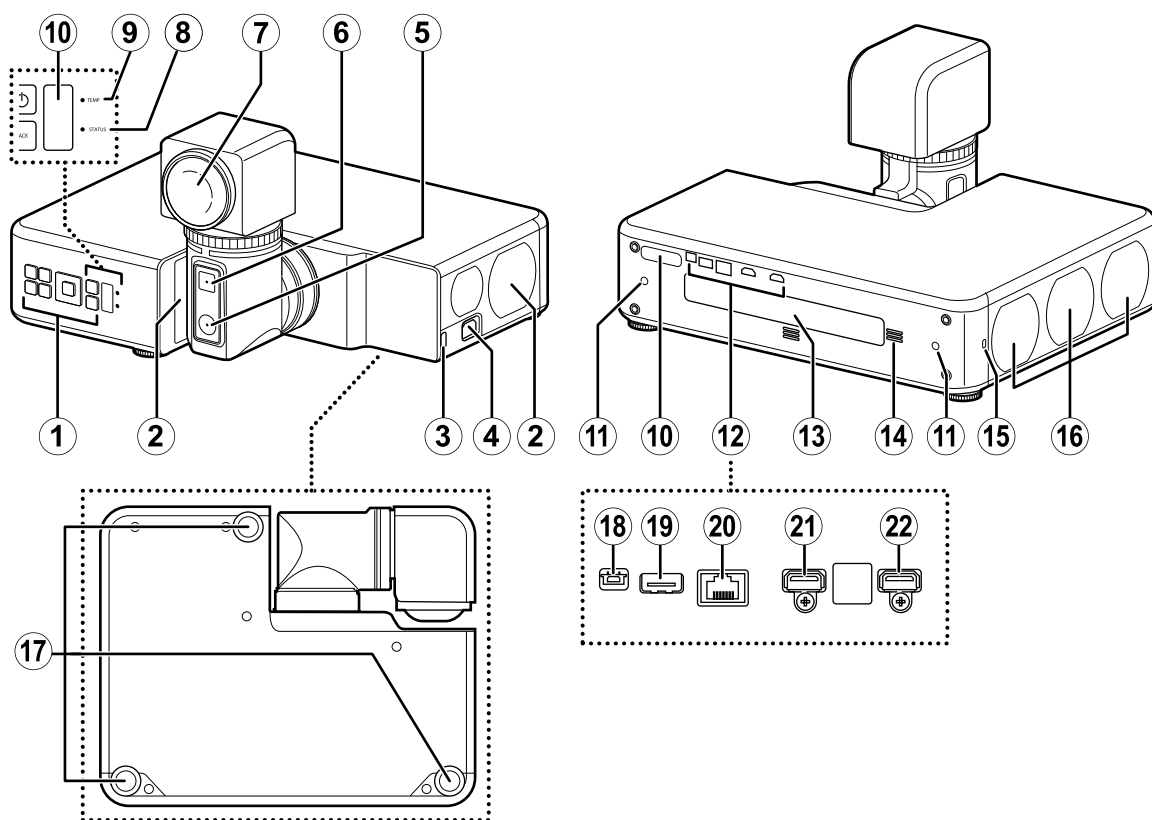


スタンド（2個）



簡易説明書（本書）

各部名称



No.	名称	参照 ページ
①	操作パネル	13
②	吸気口	7
③	HDMI 3 端子	21
④	電源端子	14
⑤	ロック解除ボタン - マウント軸	15
⑥	ロック解除ボタン - レンズ軸	
⑦	投写レンズ	24
⑧	状態インジケータランプ	
⑨	温度警告ランプ	
⑩	リモコン受光部	23
⑪	スタンド固定ねじ穴	8

No.	名称	参照 ページ
⑫	インターフェイス (接続パネル)	21
⑬	機銘版 (レーザー警告ラベル)	4
⑭	スピーカー	—
⑮	セキュリティスロット*	—
⑯	排気口	7
⑰	調整脚	—
⑱	サービス専用端子	—
⑲	USB 端子 (DC 5V 給電用)	21
⑳	HDBaseT/LAN 端子	
㉑	HDMI 1 端子	
㉒	HDMI 2 端子	

* Kensington 社製のマイクロセーバー・セキュリティシステム対応のセキュリティスロットです。

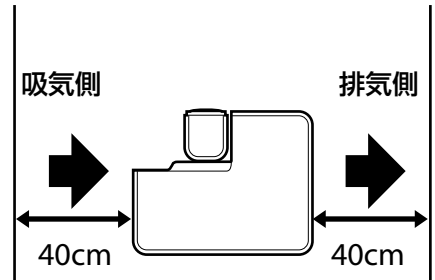
設置

設置環境の確認

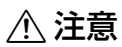
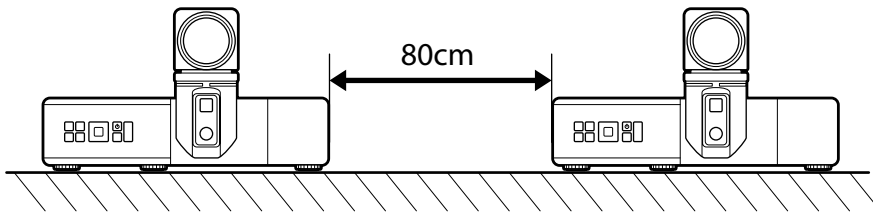
設置場所

プロジェクターを設置する際は、壁などから離してお使いください。

- 吸気側：40cm
- 排気側：40cm



プロジェクターを並べてお使いになるときは、それぞれの間を 80cm 以上、開けてください。また、排気口から出た熱が吸気口に入り込まないようにしてください。

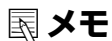


注意

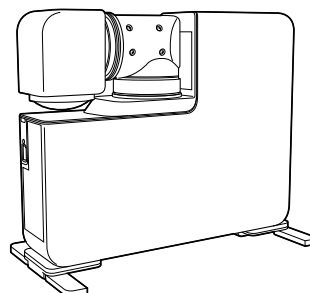
プロジェクターの吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

縦置きの設置について

縦置きで設置するときは、同梱のスタンドを本機に取り付けてお使いください。

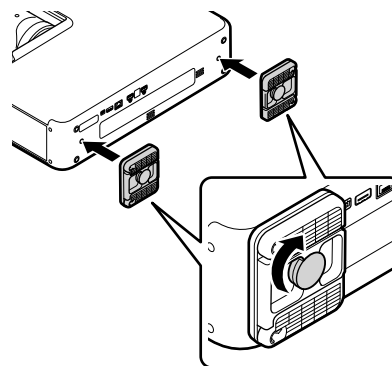


メモ 同梱のスタンドには、高さを調整する機能はありません。

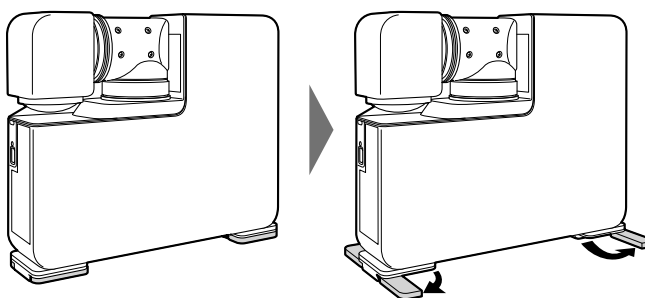


スタンドについて

縦置きで設置するときは、同梱のスタンドを取り付けます。本機のスタンド固定ねじ穴に装着します。スタンドを取り付けるときは本機を平置きにして取り付けください。レンズは収納状態にして、本機の電源を待機状態（スタンバイ）にして、電源ケーブルを本体から抜いてください。



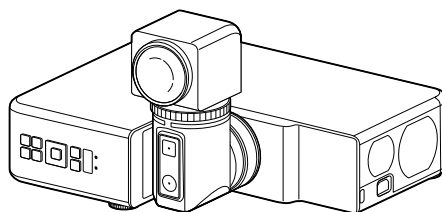
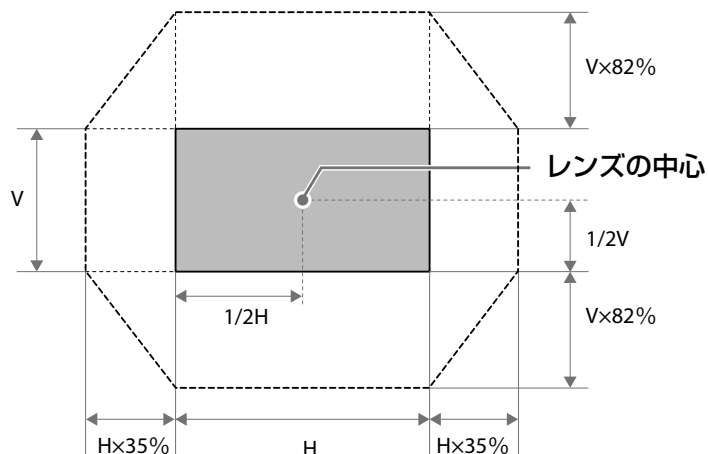
スタンドは、本体を縦置きにしてから脚を開いて使用します。



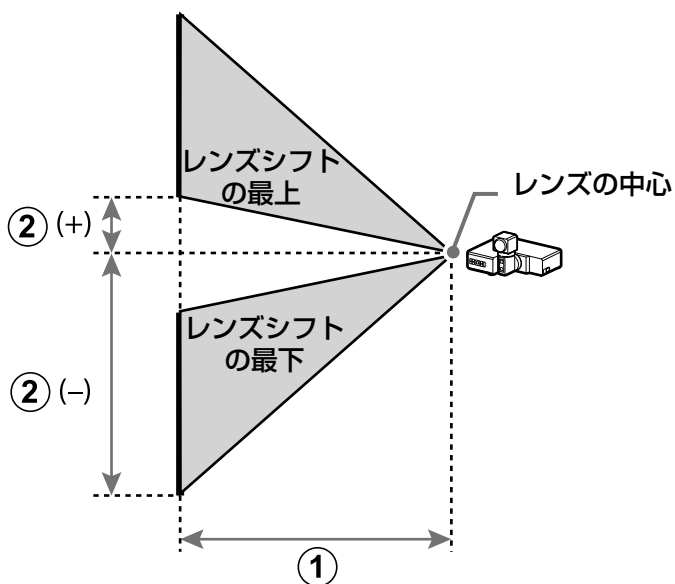
- ・ スタンド取り付けの際、本機を持ち上げる場合は、落とさないように注意してください。
- ・ **注意** スタンドはゆるみのないように本機に固定してください。また、スタンドの脚は開いてお使いください。スタンドの取り付けがゆるい場合や、スタンドの脚が開いていない場合は、縦置き使用時に不安定になり本機が転倒する可能性があります。

レンズシフト調整範囲と投写距離

■ 横投写の調整範囲



■ 投写距離



投写距離は弊社ホームページにて、より詳細な投写シミュレートが可能なツールを用意しておりますので、あわせてご活用ください。

<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/spec/>


- ① 投写距離 最短：ワイドー 最長：テレ (cm)
- ② レンズの中心からスクリーンの下端までの高さ (cm)

■ 横投写距離表

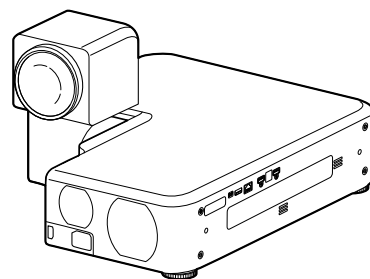
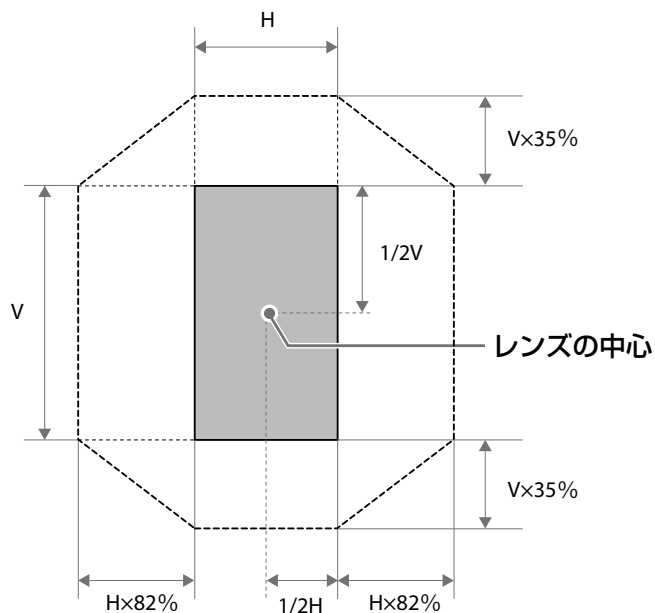
16 : 9 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
70	155 × 87	52 — 57	-115 — 28
80	177 × 100	59 — 65	-131 — 32
90	199 × 112	67 — 74	-148 — 36
100	221 × 125	75 — 82	-164 — 40
120	266 × 149	90 — 99	-197 — 48
150	332 × 187	113 — 124	-247 — 60
200	443 × 249	151 — 166	-329 — 80
250	553 × 311	189 — 208	-411 — 100
300	664 × 374	227 — 250	-493 — 120

16 : 10 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
70	151 × 85	56 — 62	-112 — 27
80	172 × 97	64 — 71	-128 — 31
90	194 × 109	72 — 80	-144 — 35
100	215 × 121	81 — 89	-160 — 39
120	258 × 145	97 — 107	-192 — 47
150	323 × 182	122 — 134	-240 — 58
200	431 × 242	163 — 179	-320 — 78
250	538 × 303	204 — 225	-400 — 97
300	646 × 363	245 — 270	-480 — 116

4 : 3 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
60	122 × 91	54 — 60	-121 — 29
70	142 × 107	64 — 70	-141 — 34
80	163 × 122	73 — 80	-161 — 39
90	183 × 137	82 — 91	-181 — 44
100	203 × 152	92 — 101	-201 — 49
120	244 × 183	110 — 121	-241 — 59
150	305 × 229	138 — 152	-302 — 73
200	406 × 305	185 — 203	-402 — 98
240	488 × 366	222 — 244	-483 — 117

 **メモ** 数値は近似計算のため数%の誤差があります。

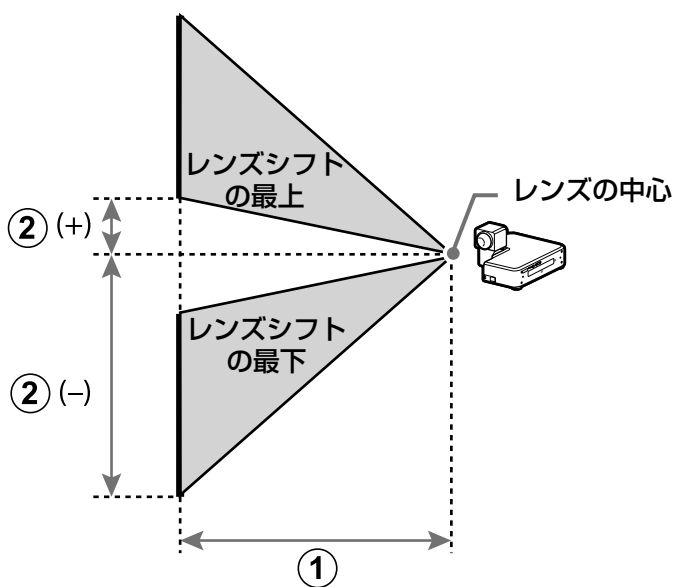
■ 縦投写の調整範囲



■ 投写距離

投写距離は弊社ホームページにて、より詳細な投写シミュレートが可能なツールを用意しておりますので、あわせてご活用ください。

<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/spec/>



① 投写距離 最短：ワイドー 最長：テレ (cm)

② レンズの中心からスクリーンの下端までの高さ (cm)

■ 縦投写距離表

16 : 9 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
70	87 × 155	52 — 57	-132 — -23
80	100 × 177	59 — 65	-151 — -27
90	112 × 199	67 — 74	-169 — -30
100	125 × 221	75 — 82	-188 — -33
120	149 × 266	90 — 99	-226 — -40
150	187 × 332	113 — 124	-282 — -50
200	249 × 443	151 — 166	-376 — -66
250	311 × 553	189 — 208	-470 — -83
300	374 × 664	227 — 250	-565 — -100

16 : 10 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
70	85 × 151	56 — 62	-134 — -17
80	97 × 172	64 — 71	-153 — -19
90	109 × 194	72 — 80	-172 — -22
100	121 × 215	81 — 89	-191 — -24
120	145 × 258	97 — 107	-230 — -29
150	182 × 323	122 — 134	-287 — -36
200	242 × 431	163 — 179	-383 — -48
250	303 × 538	204 — 225	-479 — -60
300	363 × 646	245 — 270	-574 — -72

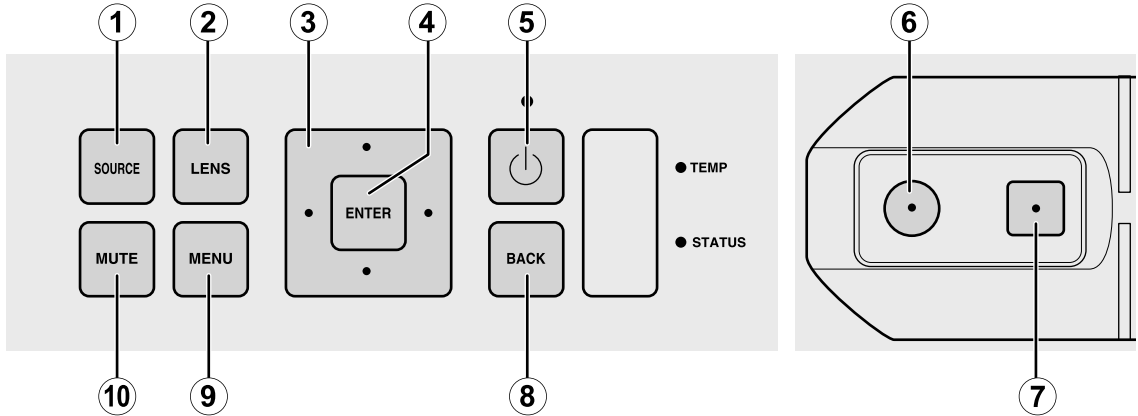
4 : 3 スクリーン		① 投写距離 (cm) ワイドーテレ	② レンズシフト (cm) 最下ー最上
サイズ (型)	幅 × 高さ (cm)		
60	91 × 122	54 — 60	-118 — -4
70	107 × 142	64 — 70	-137 — -5
80	122 × 163	73 — 80	-157 — -5
90	137 × 183	82 — 91	-177 — -6
100	152 × 203	92 — 101	-196 — -7
120	183 × 244	110 — 121	-236 — -8
150	229 × 305	138 — 152	-295 — -10
200	305 × 406	185 — 203	-393 — -14
240	366 × 488	222 — 244	-471 — -16

 **メモ** 数値は近似計算のため数%の誤差があります。

基本操作

操作パネルについて

本体の操作パネルで本機を操作します。操作パネルの各ボタンの名称と機能は以下のようになります。



No.	ボタン名称	機能
①	SOURCE	入力モードを切り替えます。
②	LENS	レンズのフォーカス、シフト、ズームの調整をします。
③	セレクター (▲/▼/◀/▶)	メニュー操作時に使用します。
④	ENTER	メニュー操作で選択した選択項目を決定します。
⑤	電源	本機の電源をオン/待機状態 (スタンバイ) にします。
⑥	ロック解除ボタン - マウント軸	回転レンズのマウント軸のロックを解除します。
⑦	ロック解除ボタン - レンズ軸	回転レンズのレンズ軸のロックを解除します。
⑧	BACK	メニュー操作時に一つ前のメニュー階層に戻ります。
⑨	MENU	各種設定・調整用のメニュー画面を表示します。
⑩	MUTE	映像と音声を一時的に消します。ボタンをもう一度押すと、消音は解除されます (MUTE ボタン以外のボタンを押しても解除されます)。

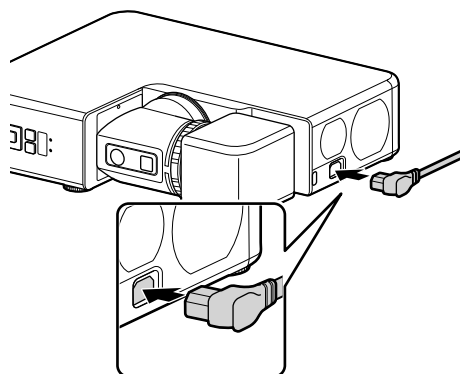
電源のオン / 待機状態（スタンバイ）

電源をオンにする

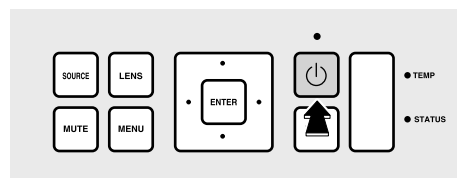
- 1** プロジェクター本体に付属の電源ケーブルを取り付けてコンセントに差し込みます。

待機状態（スタンバイ）になります。

⚠ 注意 付属の電源ケーブルはプロジェクター FP-Z5000 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。



- 2** 電源ボタンを押して、電源をオンにします。



⚠ 注意 投写中はレンズを覗かないでください。

電源を待機状態（スタンバイ）にする

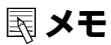
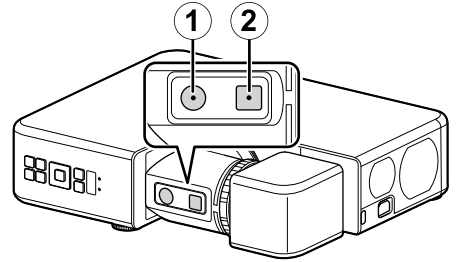
電源オン時に電源ボタンを押すと、確認のメッセージが表示されます。もう一度、電源ボタンを押すと、電源が待機状態（スタンバイ）になります。冷却ファンは電源が待機状態（スタンバイ）の数秒後に停止します。

⚠ 注意 電源が待機状態（スタンバイ）時はレンズ回転のロックを解除できないため、本体の電源を待機状態（スタンバイ）にする前にレンズの位置とキャップの装着を確認してください。

投写設定

レンズの向きを調整

レンズの向きは、ロック解除 - マウント軸ボタン (①) とロック解除 - レンズ軸ボタン (②) を押して、レンズ回転のロックを解除してからレンズを回転します。レンズの向きが確定したらそれぞれのボタンをもう一度押して、レンズ回転をロックします。

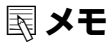


メモ

- ・ロックを解除してから 10 秒間放置すると、自動でロック状態となります。
- ・レンズ回転がロック解除のときは、LED が点灯します。

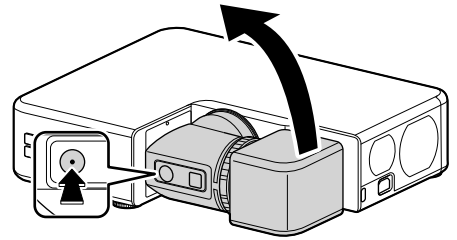
■ ロック解除 - マウント軸ボタンによる回転

ロック解除 - マウント軸ボタンを押してロックを解除すると、レンズマウント部を軸にして矢印の方向に 90° 回転できます。



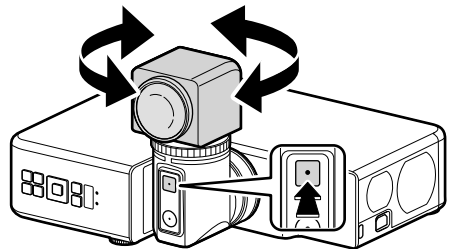
メモ

縦置きときは反対方向にも 90° 回転できます。



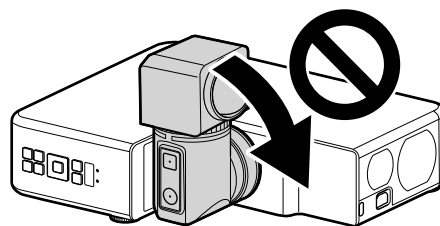
■ ロック解除 - レンズ軸ボタンによる回転

ロック解除 - レンズ軸ボタンを押してロックを解除すると、レンズ部を軸にして 90° ずつ 360° 回転できます。



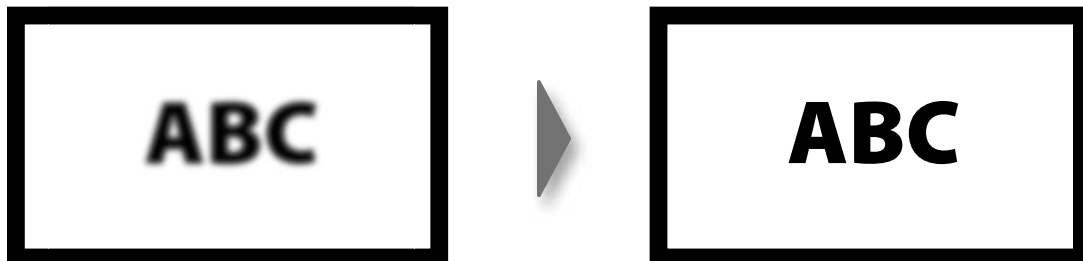
- 投写方向やレンズシフト調整によっては、映像がケラれる場合があります。
- レンズを回転するときは、レンズを支えてゆっくりと回転させてください。
- 図のレンズ位置では、レンズを保護するため、マウント軸を矢印の方向に回転できません。

⚠ 注意

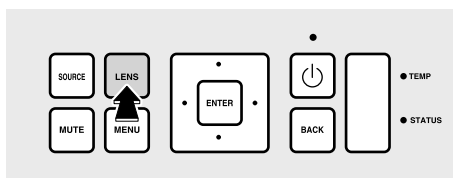


投写映像のフォーカスを調整

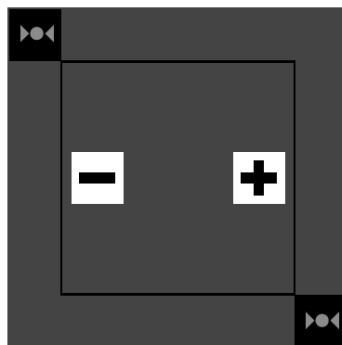
投写映像のフォーカス（ピント）を調整します。




- 1** フォーカス調整画面が表示されるまで、LENSボタンを押します。



- 2** セレクター（▲/▼/◀/▶）ボタンで、フォーカスを調整します。

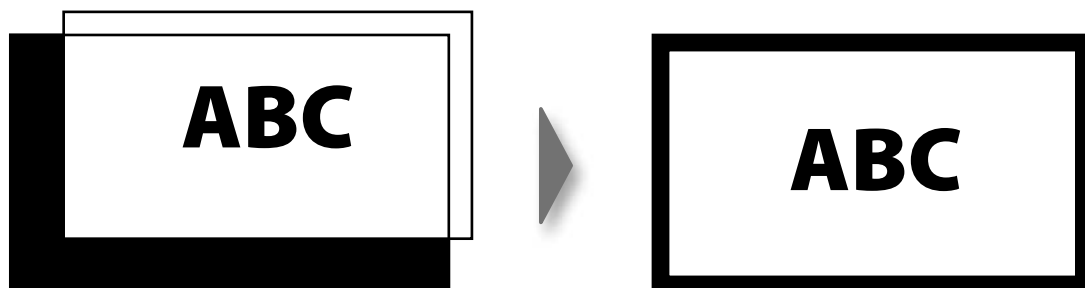


- 3** BACKボタンを押して、終了します。

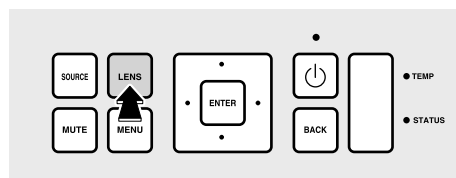
 **メモ** フォーカス調整はメニューからも行えます。

レンズシフト調整

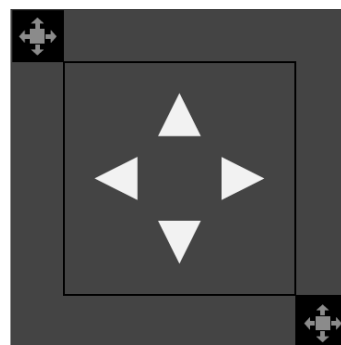
投写映像の位置をレンズの光軸移動（レンズシフト）で調整します。



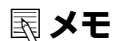
- 1** レンズシフト調整画面が表示されるまで、**LENS**ボタンを押します。



- 2** セレクター（▲/▼/◀/▶）ボタンで、投写映像の位置を調整します。



- 3** **BACK**ボタンを押して、終了します。

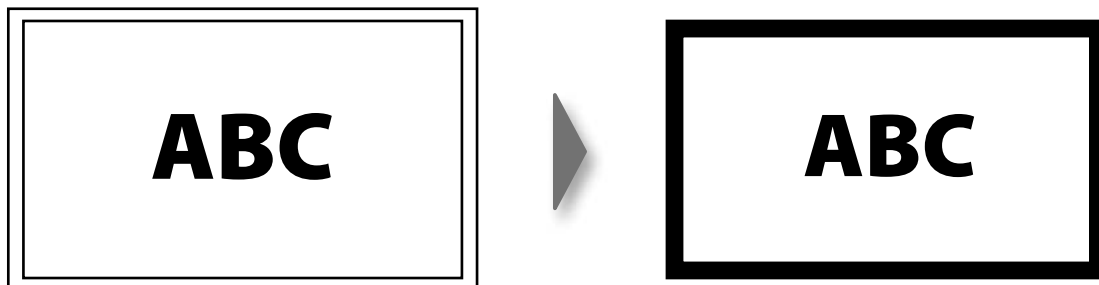


メモ

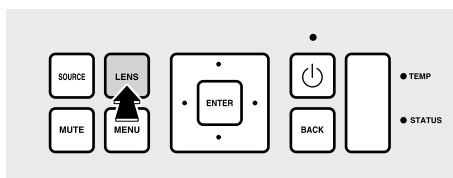
- ・ レンズを回転させても、前回のシフト位置は記憶されています。
- ・ レンズをロックすると、前回のシフト位置に自動的にシフトします。
- ・ レンズシフト調整はメニューからも行えます。

ズーム調整

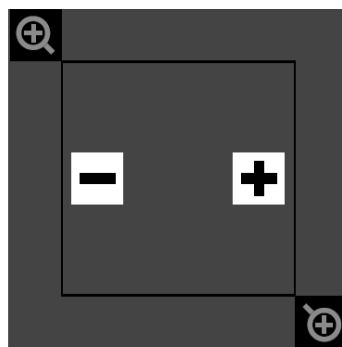
投写映像の大きさを調整します。




- 1 ズーム調整画面が表示されるまで、LENSボタンを押します。



- 2 セレクター（▲/▼/◀/▶）ボタンで、投写画像の大きさを調整します。

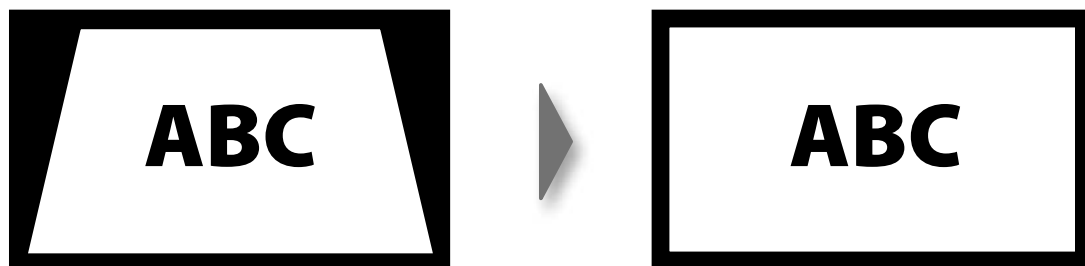


- 3 BACKボタンを押して、終了します。

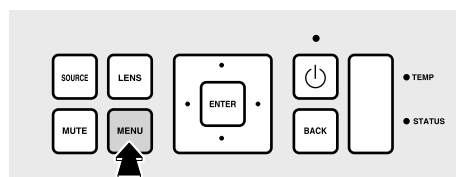
 **メモ** ズーム調整はメニューからも行えます。

キーストーン調整

スクリーンに対して垂直に投写されていないときに生じる台形のゆがみを補正（キーストーン調整）します。

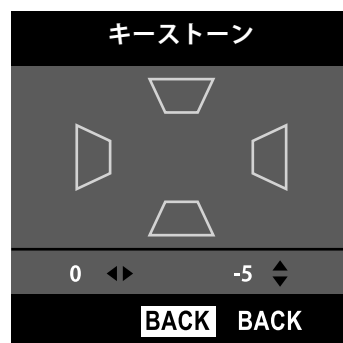


- 1** MENUボタンを押して、表示メニュー画面を表示します。



- 2** セレクター（▲/▼）ボタンで、キーストーンを選び、ENTERボタンを押してキーストーン調整画面を表示します。

- 3** セレクター（▲/▼/◀/▶）ボタンで、台形のゆがみを補正します。

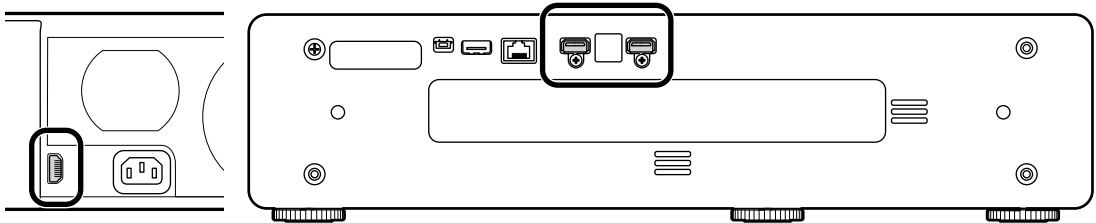


- 4** BACKボタンを押して、終了します。

接続

HDMI 機器と接続

HDMI 機器と接続するときは、HDMI1、HDMI2、HDMI3 のいずれかに接続します。



⚠ 注意

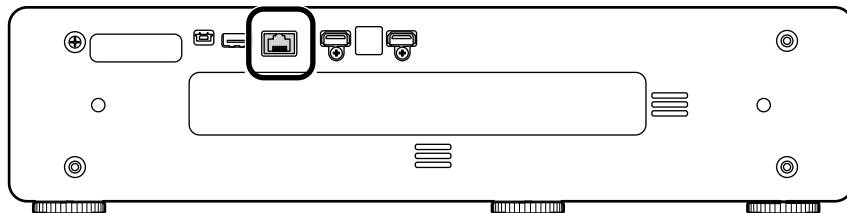
- 接続するときは、本機や接続する機器の電源を待機状態（スタンバイ）にしてください。すべての接続が終わったあとで、最初に本機の電源を入れ、接続した機器の電源をオンにします。
- 接続機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。

📖 メモ

縦置きで設置する場合は、HDMI3 端子をご使用ください。

HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続

市販の HDBaseT 対応の伝送機器と接続するときは、HDBaseT/LAN 端子 (RJ45) に接続します。



⚠ 注意

- LAN ケーブルはカテゴリ 5e 以上のシールド付き STP ケーブルをお使いください。
- LAN ケーブルでの伝送が可能な距離は最長約 100m です。
- 本機は市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器、およびすべて接続環境において動作を保証するものではありません。
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

資料

対応解像度一覧

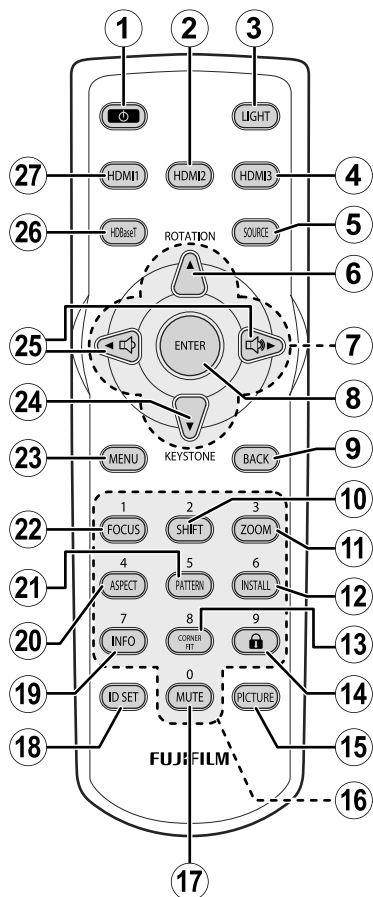
プロジェクターのパネル解像度より大きな解像度の信号を入力したときは、画質が劣化する場合があります。

HDMI/HDBaseT

信号	解像度 (ドット)	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 × 480	60
SVGA	800 × 600	60
XGA	1024 × 768	60
WXGA	1280 × 768	60
	1280 × 800	60
	1366 × 768	60
SXGA	1280 × 960	60
	1280 × 1024	60
SXGA+	1400 × 1050	60
WXGA+	1440 × 900	60
WSXGA+	1680 × 1050	60
UXGA	1600 × 1200	60
WUXGA	1920 × 1200	60
SDTV(480i)	720 × 480	60
SDTV(480p)	720 × 480	60
SDTV(576i)	720 × 576	50
SDTV(576p)	720 × 576	50
HDTV(720p)	1280 × 720	60 / 50
HDTV(1080i)	1920 × 1080	60 / 50
HDTV(1080p)	1920 × 1080	60 / 50

リモコンの使い方

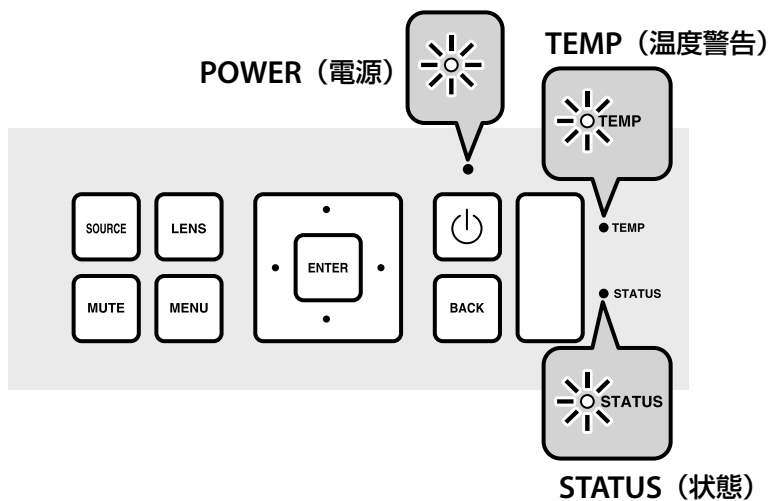
リモコンの名称と機能は以下のようになります。



No.	ボタン名称	機能
①	電源	本機の電源をオン/待機状態（スタンバイ）にします。
②	HDMI2	HDMI2 を選択します。
③	LIGHT	リモコンのボタンが約 10 秒点灯します。
④	HDMI3	HDMI3 を選択します。
⑤	SOURCE	入力モードメニューを表示します。
⑥	ROTATION	投写映像を上下に回転します。
⑦	セレクトター (▲/▼/ ◀/▶)	メニュー操作時に使用します。
⑧	ENTER	メニュー操作で選択した選択項目を決定します。
⑨	BACK	メニュー操作に一つ前のメニュー階層に戻ります。
⑩	SHIFT	シフト調整を行います。
⑪	ZOOM	ズーム調整を行います。
⑫	INSTALL	投写方法の設定メニューを表示します。
⑬	CORNER FIT	コーナーフィットの設定メニューを表示します。
⑭	リモコン操作 ロック	リモコン操作が無効になります。 リモコン操作をロックするときもリモコンは本体の受光部に向けて操作してください。
⑮	PICTURE	出力映像に関する設定を行います。
⑯	10 キー	リモコンの ID ナンバー設定の入力で使用します。
⑰	MUTE	映像と音声を一時的に消します。ボタンをもう一度押しと、消音は解除されます（MUTE ボタン以外のボタンを押しても解除されます）。
⑱	ID SET	リモコンの ID を設定します。
⑲	INFO	本機の情報を確認します。
⑳	ASPECT	アスペクト比を切り替えます。
㉑	PATTERN	テストパターンを表示します。
㉒	FOCUS	フォーカス調整を行います。
㉓	MENU	各種設定・調整用のメニュー画面を表示します。
㉔	KEYSTONE	台形補正調整メニューを表示します。
㉕	音量調整	内蔵スピーカーの音量を調整します。
㉖	HDBaseT	HDBaseT を選択します。
㉗	HDMI1	HDMI1 を選択します。

インジケータランプ

インジケータランプ（POWER/TEMP/STATUS）の点灯 / 点滅 / 消灯で、プロジェクターの状態がわかります。



各インジケータランプとプロジェクターの状態は以下のようになります。

ランプ			プロジェクターの状態
POWER	TEMP	STATUS	
橙点灯	消灯	消灯	待機状態（スタンバイ）
白点灯	消灯	消灯	電源オン
白点灯	橙点滅	消灯	本体の温度上昇
白点灯	橙点灯	消灯	レーザー光源の温度上昇
消灯	消灯	橙点灯	ファンの異常
白点灯		または 橙点滅	
白点滅	消灯	橙点滅	光学エンジンの異常
白点滅	消灯	橙点灯	電源ユニットの異常

FUJIFILM 富士フイルム株式会社

光学・電子映像事業部 国内販売グループ
〒331-9624 埼玉県さいたま市北区榑竹町 1-324

お問合せ お問い合わせは、ウェブサイトよりお願いいたします。
<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/support/>



安全にご使用いただくため、取扱説明書に従い、正しくお取り扱いください。
注意

修理に関するお問い合わせは
富士フイルムプロジェクターサポートセンター

電話番号: **050-3786-7146**

受付: 月～日曜(年末年始は休業)
営業時間: 9:30～17:30(土日祝 10:00～17:00)

詳しくは、ウェブサイトよりお願いいたします。
<https://optics.fujifilm.com/projector/ja/support/support01.html>

